

2022.2/13(日)

第6回
なごや国際

オーガニック 映画祭

テーマ「子どもたちの未来につながるオーガニック給食」

健康で幸せに生きるために「安心安全」な食は欠かせません。なぜなら、人のカラダは食べ物で出来ているからです。ましてや子ども時代の食生活は人格形成の「基礎」になります。いま待った無しの地球環境の危機に対し、静かに、そして確実に、世界に広がりつつある「有機農業」。この日本にも有機100%の米や野菜を使用した給食が採用された地域があります。それにより地域経済が地産地消で循環するようになり、国内の様々な社会問題を解決する可能性も見えてきました。全国でオーガニック給食を求める運動も始まりました。「私たちは子どもたちの未来を考える大人でありたい」給食の意義を深く知り、子どもたちの給食をオーガニック給食へ進めていきましょう！

○日時：2022年2月13日(日) 9:30~16:00

○会場：ウイルあいち 3F大会議室

○定員：100名 ※ QRコードより事前予約が必要で、お早めに申し込み下さい。



○入場料：前売 2,300円 当日 2,500円
高校生以下無料(当日払い)

○託児：1歳以上、就学前児童まで。

申込先 / info@niffoa.jpn.org (ctn. 1/13)

新型コロナ対策のため人数の変更や中止の場合があります。
なお、ご来場の際は マスクの着用をお願いいたします。



- 地下鉄「市役所」駅 2番出口より東へ徒歩約10分
- 名鉄瀬戸線「東大手」駅 南へ徒歩約8分
- 高幹バス「市役所」下車 東へ徒歩約10分
- 市バス幹名駅「市政資料館南」下車 北へ徒歩約5分

● 9:30～ 『給食からの革命』 世界中で起こりつつある学校給食革命



原題: Recettes Pour un monde Meilleur
2019年 / フランス / 70分 (日本語字幕)
監督: ブワ・ブランジェ

日本では種子法の廃止、種苗法の改正、ラウンドアップ大幅規制緩和、表記のないケム編集食品流通といった事実が「ほしんど」報道されていきます。私たちのカラダや食の未来は？
日本国内だけでなく、アメリカではモンサント裁判の原告などを回り、韓国では小学校で普及するオーガニック給食などについて取材。グローバル化したアグリビジネスの現状や、各国で食の安全に取り組む人々を映し出す食の裏側に迫るドキュメンタリー。

● 11:00～ 講演 講師: 松澤政満

あいち有機農業推進ネットワーク代表・福津農園運営

● 12:00～13:00 休憩

<近くに飲食店が多くありません。持参の場合、会場内で食べられます。>



● 13:00～ 『食の安全を守る人々』 未来の子どもたちのために



2021年 / 日本 / 103分
監督: 原村政樹 配給 きろくびと
企画制作: 一般社団法人心土不二
世界人口が急激に増加し、地球温暖化などによる環境問題も悪化する今、食を見直す時期に来ている。学校給食の有機化がもたらす社会の変わりようを描く。食品ロス削減に向けた知恵、生ゴミの堆肥化事業など、欧州各国の具体例を紹介し、学校給食が変わることによって社会が変わる可能性を示す。

● 15:00～16:00 講演 講師: 山田正彦

元農水大臣・弁護士 一般社団法人心土不二代表理事
オーガニック給食マップ呼びかけ人 [オーガニック給食マップ](#)



◆後援/名古屋市教育委員会、名古屋市、あいち有機農業推進ネットワーク
◆協力/名古屋の給食をオーガニックにする会、コレからの地球とみらいの子どもたちの健康を考える会、未来をつくる給食♥Foods for Children愛知、
◆主催/なごや国際オーガニック映画祭実行委員会
お問い合わせメール: info@niffoa.jpn.org
tel: 090-9902-0272 内山 (なるべくショートメールで連絡してください。)